

2010年9月3日

報道関係者各位

## 「マネージドセキュリティサービス選定ガイドライン」 公開のご案内

日本セキュリティオペレーション事業者協議会  
代表 武智 洋（株式会社ラック）

日本セキュリティオペレーション事業者協議会（代表 株式会社ラック 武智洋、事務局 NPO 日本ネットワークセキュリティ協会：JNSA）は、2010年8月27日に「マネージドセキュリティサービス選定ガイドライン」を公開しました。

「マネージドセキュリティサービス選定ガイドライン」  
（参照先 URL：<http://www.jnsa.org/isog-j/> こちらからダウンロードできます。）

マネージドセキュリティサービスは、セキュリティ対策装置の監視や運用を通じて、利用者の IT システムのセキュリティに関する異常を検知し、保護を行うサービスです。このガイドラインでは、これからサービスを利用しようとする企業等やすでにサービスを利用中のユーザを対象とし、導入にあたり事前に検討すべき事柄や、複数の事業者のサービスを比較検討する際のポイント、選定後の導入から運用に至るまでの各段階における注意点、サービス中における利用者と事業者の関係について説明しています。本ガイドラインを参考にさせていただくことで、各事業者の提供するサービスに関する理解を深め、より良いサービスを受けられるようになることを目的としています。

日本セキュリティオペレーション事業者協議会は、このようなセキュリティサービスに関する検討や整理、その結果の共有等を通じて、日本のセキュリティの向上に寄与することを目指して活動しています。

---

### ・報告書「はじめに」より抜粋

近年、インターネットを取り巻くセキュリティの脅威は、自己顕示を目的としたものから営利目的かつ組織的なサイバー犯罪へと変化しており、その手法の進化や多様化も急速に進んでいます。このため、一般の企業の IT システムにおいても強固なセキュリティ対策を実施することが必要不可欠となりました。一方で、IT システムに対する攻撃手法は急速に進化していることから、その対応には極めて高度な専門知識が必要となり、従来のように、一般の企業が自社のリソースのみで対応することは、技術的にもコスト的にも困難です。

そこで、自社のセキュリティ対策・運用の一部を、専門的な知識や技術を持った事業者に委託する事が一般的になってきています。セキュリティ対策のサービスは、利用者とサービス事業者の間で、保護対象となる IT システムの目的や成果を明確にしたうえで、ともにセキュリティ対策を実現するものです。つまり、専門事業者のサービスをセキュリティ対策に組み入れる場合でも、すべてを事業者任せにすればよいものではなく、利用者がサービスの特徴や品質を理解し、サービスを正しく活用することで、はじめてその成果を得ることができます。このために、事業者の評価・選定から、対策装置の選定、運用の設計、日常的な運用に至るまで、多くの部分で利用者が情報を適切に把握し、判断を下すことが必要です。本ガイドラインでは、利用者がセキュリティ対策の事業者やセキュリティ対策サービスを選定する際に、ポイントとなる部分を解説します。本書がセキュリティサービスの利用者にとって、事業者選定の手助けになることを望みます。

## ・日本セキュリティオペレーション事業者協議会 WG1 メンバー

### リーダー

許 先明 株式会社ブロードバンドセキュリティ

### サブリーダー

齋藤 衛 株式会社インターネットイニシアティブ

### メンバー

桃井 康成 株式会社インターネットイニシアティブ

山口 将則 株式会社インターネットイニシアティブ

吉川 弘晃 株式会社インターネットイニシアティブ

平舘 一哉 NRI セキュアテクノロジーズ株式会社

村上 卓 NRI セキュアテクノロジーズ株式会社

駒崎 修 NECネクサソリューションズ株式会社

井上 博文 日本アイ・ビー・エム株式会社

梨和 久雄 日本アイ・ビー・エム株式会社

南端 邦彦 日本電信電話株式会社

川崎 基夫 株式会社ブロードバンドセキュリティ

岩瀬 巧 株式会社ラック

武智 洋 株式会社ラック

### ■ 本件に関するお問合せ先

日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)

E-mail: [isogj-info@jnsa.org](mailto:isogj-info@jnsa.org)

## ■ 日本セキュリティオペレーション事業者協議会（ISOG-J）について

ISOG-J は、セキュリティオペレーションサービスの普及とサービスレベルの向上を促すことを目的とし、2008年6月13日にNPO日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）の下部組織として発足しました。

セキュリティオペレーション技術向上、オペレータ人材育成、および関係する組織・団体間の連携を推進する事業を実施することによって、セキュリティオペレーションサービスの普及とサービスレベルの向上を促し、安全で安心して利用できるIT環境実現に向けて寄与することを目的としています。

・ URL: <http://www.jnsa.org/isog-j/>

## ■ NPO 日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）について

日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）は2000年4月に任意団体として活動を開始し、2001年7月にNPOとして承認されました。

当協会は、ネットワークセキュリティに関する啓発、教育、調査研究および情報提供に関する事業を実施することによって、ネットワークセキュリティに関する標準化の推進と技術水準の向上に寄与するとともに、公益の増進に貢献することを目的としており、社会活動部会、調査研究部会、標準化部会、教育部会、会員交流部会、U40部会の6部会と西日本支部が中心となり、さらに20のWG（ワーキンググループ）に分かれて活動しています。

2010年9月1日現在、158社の会員に参加していただいております。最近では、内外にも活動が知られるようになるとともに、技術だけでなく国の施策に関する係わりも多くなってきています。

### <団体概要>

団体名： 特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）  
事務局所在地： 〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-12 JCビル3F  
連絡先： TEL:03-3519-6440 FAX:03-3519-6441 E-Mail: [sec@jnsa.org](mailto:sec@jnsa.org)  
URL: <http://www.jnsa.org/>  
設立年月日： 2001年7月12日（任意団体としては2000年4月13日より活動）  
会員数： 158社（2010年9月1日現在）